

幕別

# 江陵高生が投票体験

## 選挙と地域の関係学ぶ

【幕別】議会や選挙を知ってもらおうと、江陵高校(若宮栄校長)の3年生92人を対象とした出前講座が11日、同校体育館で開かれ、生徒が模擬選挙を体験した。

町議会(芳滝仁議長)と町選管主催。2016年に施行された改正公職選挙法で、選挙権年齢が満18歳以上になり下げられたことを受け、今年度に有権者となる3年生に議会と選挙について学びの場を提供した。

芳滝議長が「議会などのように関わればいいのか考えるきっかけになれば」と趣旨を説明。藤谷謹至議会運営委員長は、地方議会の仕組みや議員活動などにつ

いて話し、地域の課題や政治に関心を持って投票へ参加することを呼び掛けた。生徒による模擬投票では、スポーツ大会誘致による経済振興や教育機関設置で子どもの学力向上、恋愛推進で婚姻率を上げ少子化防止をそれぞれ公約に掲げる3候補への投票を実施。

生徒は実際に選挙で使われる記載台で名前を書き、投票箱に一票を投じた。開票の結果、恋愛推進の候補が当選を決めた。

来春に就職を控える今野翔真さんは「社会人となるために、政治や選挙の仕組みなど今回教わったことを大事にして歩んでいきたい」と話していた。

(折原徹也)

真剣な表情で模擬投票を体験する生徒

